

生産方式革新実施計画の概要

【彦坂 年亮、岩瀬 宗男、加藤 正人】

2025年9月30日認定

栽培管理システムのデータを農協と共有
データの分析を通じた計画販売と栽培計画の見直しで収益性アップ

申請者：

ひこさか としあき

彦坂 年亮（愛知県豊橋市）

いわせ むねお

岩瀬 宗男（愛知県豊橋市）

かとう まさと

加藤 正人（愛知県豊橋市）

（JA豊橋 てつコン倶楽部メンバー）

対象品目：

キャベツ（加工業務用）

スマート農業技術：

栽培管理システム

新たな生産方式：

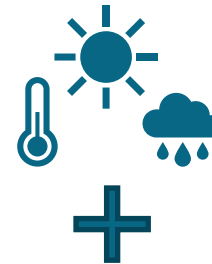
栽培管理システムで取得したデータを農協と共有し、生育状況やほ場在庫（未出荷量）を可視化。これにより契約履行のための余剰生産分を計画的に販売（実需との事前交渉による追加販売）するとともにデータを翌年の栽培計画にフィードバック。

彦坂 年亮、岩瀬 宗男、加藤 正人（JA豊橋 てつコン倶楽部メンバー）

栽培管理の改善

栽培管理システム

ほ場情報（栽培品種・定植時期、作業記録等）、
気象情報、ほ場別出荷実績（出荷日・重量等）



データ共有・分析

生育状況
ほ場在庫量

生育状況や販売データを基に
翌年の栽培計画を提案

JAあいち経済連・JA豊橋



加工業務用キャベツは契約数量を確実に出荷できるよう、契約数量より余裕をもって生産。
ほ場在庫量を予め把握することで、実需との事前交渉により余剰生産分を計画的に追加で販売することが可能となり、生産者の収益が向上。

計画販売

